勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.4
2025 春号

現場第一！ひたむきに走る

2月定例会 一般質問

若者・単身者政策について

【勝山】若者・単身者向けの居場所の推進について、9月定例会で「市町村と連携しながら地域ごとのユースセンターの設置を促進したい」との答弁をいただいた。その後の連携状況と今後の予定を伺う。

【こども若者局長】県内のどこにどのような若者の居場所が設置されているか調査し、高校生の居場所づくりが各地域で進んでいることが分かった。
昨年11月に「ユースセンターについて学ぼう」をテーマに高校生も参加して意見交換会を開催し、ユースセンター設置に向けた機運醸成を図った。
市町村での設置を促進するために元気づくり支援金で補助率を上げる重点支援対象事業とし、市町村に今後の設置に向けた検討を依頼した。

「ユースセンターについて」
長野県のHPより→

初当選以来、毎定例会で一般質問に立たせていただいております。主な質問・答弁の趣旨は以下の通りです。

【勝山】9月定例会で、「若者・単身者の社会的つながりや出会いの場となる居場所づくり」や「メタバースを活用したコミュニケーション空間の提供」を提案した。来年度予算へどのように反映させていくか、今後の取組を伺う。

【こども若者局長】社会とつながることに困難を抱える若者への支援を充実したいと考え「子ども若者総合支援センター」を設置することにした。議員からの提案を参考にセンターでは、オンライン相談をメタバースで受け付けるほか、専門人材の増員など若者や単身者が相談しやすい環境の整備に今後も取り組む。

認知症政策の取組について

【勝山】認知症バリアフリー社会の実現に向けた機運醸成を目的として、企業・団体等による「認知症バリアフリー宣言」という取組があるが、県内で宣言をしている企業・団体等は少ない。「認知症バリアフリー宣言」の推進を積極的に行ってはいかがか。

【健康福祉部長】認知症の方にとって、生活のあらゆる場面での障壁を減らす「認知症バリアフリー」は重要な理念。労働局や県内経済団体と連携し、正しい理解促進とともに、宣言の理念の周知に取り組む。

一般質問の動画は右のQRコードよりご視聴になれます。是非ご覧ください。

2月定例会

9月・11月定例会 産業観光企業委員会での質疑

価格転嫁について

【勝山】賃金が上がりつつも、物価高騰に追いついていない事が課題。中小企業が更なる賃金アップを実現するため、価格転嫁の実施が重要だが、業種ごとに価格転嫁のしやすさに違いがある。例えば、運輸・倉庫の関係は価格転嫁できている企業は3割を下回っている。業種ごとの対策をどのように考えているか伺う。

【経営・創業支援課長】倉庫業も含めて、業種ごとに課題があると思う。中小企業団体中央会等と連携を図り業種ごとに様々な支援をしたい。例えば今年度、価格転嫁サポートチームができたので、アウトリーチ型の支援をしていきたい。

宿泊税について

【勝山】宿泊税の導入にあたり、再来年度に会計システムの改修が必要になると思う。システム改修に関して、助成金などフォローが必要になると思うが、どのように考えているか？

【山岳高原観光課長】県民説明会、パブリックコメント、宿泊事業者の皆様からのご意見を踏まえながら、必要なシステム改修への対応を考えていきたい。
【勝山】納税者の方に目的・使途が分りやすいような工夫が必要だと思うが。
【山岳高原観光課長】目的・使途を分かりやすく伝えることが重要。ポスターやチラシなど、今後分かりやすく伝える方法を検討したい。

公明党長野県議団 長野市・上水内郡第２支部　〒381-0005長野市北堀735-2　E-mail：katsuyamahideo@gmail.com